

## 「FOR THE NEXT STEP」

挑戦問題 『みんなによるみんなのための道探し』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

よりよい生き方探しに向け、仲間と協働して情報収集・整理分析することを通して進路に対する視野を広げることが期待できる。また、保護者やクラスメートへ、担当した進路先について得られた最新の情報・魅力を、ポイントを絞ってわかりやすくまとめた進路新聞を作成する過程において思考力・表現力を向上することができる。それぞれの進路選択に向けての自立的な態度と支援的環境を向上させる効果も期待できる。

## 令和元年度の取組より

## Before【初発の生徒の振り返りより】

- ・通える範囲だけでもこんなにたくさんの進路先があることを初めて知りました。自分に合った進路先を探すのは大変そうです。
- ・進路決定のためには、たくさんの学校を自分で調べる事が大事だと思いました。オープンスクールなどで、実際に自分で行って、体験することも大切だとわかりました。
- ・高校を選ぶことは、自分の将来に関わる事だと知り、緊張してきました。じっくり調べて、じっくり考えて、高校を決めたいと思いました。



「進路先の魅力を学ぶ会」の様子

## After【生徒の振り返りより】

- ・この学習で、たくさんの高校を知り、さらにイメージが変わった学校もたくさんあった。一人一人の夢の実現に向けて、一人ではなくクラスで取り組むことがわかった。
- ・高校には種類があるし、学科もいろいろある。自分がその学校で何をしたいか、自分の夢に近づくことができる学校なのかなど、高校を決めるために考えることがたくさんあった。
- ・高校の先生をおもてなしすることで、自分の名前も覚えてもらったし、広南中学校の良さをしっかりアピールすることもできた。担当した係の仕事をしっかりして、みんなで協力したから会を成功させることができた。
- ・「進路先の魅力を学ぶ会」で、今まで興味を持っていなかった学校の魅力を知って、もっと知りたいと思い調べ、それを新聞に書いて伝えることもできた。

## 令和2年度指導計画・ワークシート改善のポイント

- ・生徒たちが自ら企画、実行する機会として捉え、高校説明会の企画やそのために準備する時間数を確保する。特に、よりよい会にするために互いにアドバイスし合い、練習するための時間が必要である。
- ・企画、準備では配付資料、送迎、司会、挨拶、質問等の分担をし、その係毎に原稿や動きを確認、練習する。
- ・それぞれの進路先の魅力を限られた紙面で紹介するために、求められる情報の例を示しておく。



「進路新聞」